

重点ヒアリング事項の選定方法

◎優れた点・特色ある点：令和 6 年度中期計画進捗状況報告書の特記事項に掲載を予定している事項を踏まえて選定。令和 7 年度第 1 回分科会で審議。

◇改善・充実を求める点：令和 5 年度中期計画進捗状況に対する所見を踏まえて選定。令和 6 年度第 5 回分科会で審議。

令和 7 年度公立大学分科会から東京都公立大学法人に対しての重点ヒアリング事項一覧

※各校・法人のヒアリング時間の冒頭で、下記重点ヒアリング事項についてのヒアリング時間を設ける。

No.	対象	優/ 改善	大項目 番号	指標 番号	重点ヒアリング事項	特記事項/所見 該当部分
1	都立大	◎	—	—	令和 7 年度第 1 回分科会で審議	—
		◇	4	1-2-4 ② 1-2-5 ②	在籍留学生数及び海外派遣学生数に向けた取組	・在籍留学生数を中期計画期間の最終年度である令和 10 年度までに 940 名以上にするという評価指標は意欲的だが、コロナ禍の影響もあり実績と乖離がある。要因分析を踏まえて指標の達成に向けた今後の見通しを検討し、留学生の出身地域の多様化や優秀な人材の受入れ拡大に資する取組の充実を図ることが求められる。 ・海外派遣学生数を 6 年間累計で 2,100 名以上にするという挑戦的な評価指標についても、コロナ禍や円安の影響もあり実績と乖離がみられるため、要因分析を踏まえて指標の達成に向けた今後の見通しを検討し、効果的で多面的な取組を更に充実させることが求められる。(1-2-4②、1-2-5②)
2	産技大	◎	—	—	令和 7 年度第 1 回分科会で審議	—
		◇	11	2-2-6	エンロールメント・マネジメントを通じた学生支援に向けた取組	・エンロールメント・マネジメントを通じた学生支援について、目指すところを具体化するとともに、関連する実績や学生の状況を客観的に示すなど、取組とその成果を明らかにしていくことが望まれる。
3	高専	◎	—	—	令和 7 年度第 1 回分科会で審議	—
		◇	15	3-2-1 ②	医工連携をテーマとした未来工学教育プログラムに向けた取組	・医工連携をテーマとした未来工学教育プログラムは、修了者アンケート結果によると、知識やスキルを獲得できたという回答が多くなっており、思考力やコミュニケーション能力等についても一層成長・向上が実感できるカリキュラムへと充実を図ることが望まれる。
4	法人	◎	—	—	令和 7 年度第 1 回分科会で審議	—
		◇	24	4-3-1	中期計画の進捗を自ら管理する制度に向けた取組	・地方独立行政法人法改正により、令和 6 年度から都の評価委員会による年度評価が廃止され、法人が中期計画の進捗を自ら管理する制度が開始したため、これまで以上の自主性の発揮が望まれる。

東京都公立大学法人の業務実績評価方針及び評価方法(抜粋)

５ 評価の方法 （２）見込評価及び期間評価 ア 項目別評価 （ア）業務実績の検証

項目別評価を実施するに当たって、法人から提出された業務実績等報告書等を基に検証を行う。

検証に当たっては、中期計画に記載されている各項目の業務の実績について、評価指標の達成状況など客観的な事実を用いて中期計画の進捗・達成状況及び成果・効果を確認するとともに、法人の自己評価及び計画設定の妥当性を含め総合的に行う。

検証は、法人からのヒアリングにより実施する。なお、公立大学分科会が予め指定する事項については、より詳細なヒアリングを行う。

※見込評価及び期間評価の実施方法に準じて、中期計画進捗状況確認のヒアリングも実施する。